

# 奄美大島・喜界地区推奨飼料作物栽培暦



草種	品種	播種及び施肥量(kg/10a)	生草収量	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												草種の特徴・留意点	栽培のポイント																								
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			上	中	下	上	中	下	上	中	下															
永年牧草	ローズグラス	施肥 基肥(kg) 追肥(kg) N 8 5 P 15 5 K 10 5 播種量 2~3kg/10a (生種子) 5~6kg/10a (コート種子)	8~10t/10a													<土壌診断の奨励> ・管内の土壌は、酸性に偏る傾向があるため一度土壌診断を行うことを奨励する。 (土壌採取方法) ①肥料等を散布する前に採取する。(雨が降った直後は避ける) ②1つの畑から5カ所程度お茶碗1杯ずつ土をとる。深さは地表から15cm程度のところを採取する。 ③採取した土をビニール袋にいれてよく混ぜて、(農政普及課または各市町村役場)へ依頼する。 ※播種1ヶ月前には行うようにする。 <播種前> ・プラウでの深耕・反転、ロータリーで砕土・整地を十分に行う。 ・管内の土壌は保肥力に乏しいため、堆肥投入を必ず行う。 ・生糞尿、窒素肥料の過剰投入は、硝酸塩中毒の危険があるため避ける。 ・酸性に偏りがちな場合は、土壌改良資材を投入する。 (土壌成分が不足している場合の対処法)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>対処方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苦土(Mg)が足りない</td> <td>苦土石灰の施肥</td> </tr> <tr> <td>石灰(Ca)が足りない</td> <td>消石灰の施肥</td> </tr> <tr> <td>加里(K)が足りない</td> <td>※牛糞堆肥の施肥で補填可能</td> </tr> <tr> <td>リン(P)が足りない</td> <td>ヨウリンの施肥</td> </tr> </tbody> </table>	状態	対処方法	苦土(Mg)が足りない	苦土石灰の施肥	石灰(Ca)が足りない	消石灰の施肥	加里(K)が足りない	※牛糞堆肥の施肥で補填可能	リン(P)が足りない	ヨウリンの施肥														
	状態	対処方法																																							
苦土(Mg)が足りない	苦土石灰の施肥																																								
石灰(Ca)が足りない	消石灰の施肥																																								
加里(K)が足りない	※牛糞堆肥の施肥で補填可能																																								
リン(P)が足りない	ヨウリンの施肥																																								
ソルガム	施肥 基肥(kg) 追肥(kg) N 10 5 P 20 5 K 10 5 播種量 2~3kg/10a	5~10t/10a													・茎が太く、茎葉収量や乾物収量は最も多い。 ・糖分が高く、夏場の青刈給与に適している。 ・若刈り(草丈1m以下)は、硝酸塩、青酸中毒の恐れがあるため、避ける。	<播種> ・土塊に種子が落ち込んで発芽率が落ちないように十分に整地する。 ・播種後は軽く覆土し、十分に鎮圧をおこなう。 ・ブロードキャスト等で種子、肥料、土を混ぜて散布することで省力化に繋がる。 ・ローズグラス等は軽く鎮圧してから播種、砕土鎮圧すると発芽率が向上する。																									
夏作	スーダングラス	施肥 基肥(kg) 追肥(kg) N 10 5 P 20 5 K 10 5 播種量 3~8kg/10a ※細茎にしたい場合は、範囲内で播種量を増す。	5~10t/10a													・多収で分けつ力・再生力が強い。茎は細く、ラップサイレージにも適する。 ・生育初期は雑草と競合しやすいため、雑草防除に努める。 ・若刈りは、青酸中毒の恐れがあるため、避ける。	<作付草種・品種の選定> ・草種の選択をする場合は、それぞれの栄養価を十分に理解し選定する。(図のTDN量を参照) ・早生品種は開花結実が早く、低温期の伸長に優れている。 ・晩生品種は開花結実が遅く収量も高いため、長期利用に適している。 ・長大作物は台風の影響を考慮し、耐倒伏性・耐病性の強い品種を選定する。 ・冬期に永年牧草は減収するため、一部早生品種の栽培を奨励する。																								
	イタリアングラス	施肥 基肥(kg) 追肥(kg) N 10 5 P 20 5 K 10 5 播種量 3~4kg/10a	6~9t/10a													・生草、乾草、サイレージと多様性に富み、栄養価はローズグラスより高い。 ・硝酸塩を蓄積しやすいので窒素肥料は適正に施肥する。 ・早期の播種はもち病の危険性がある。	<雑草対策> ①耕種的防除方法 ・掃除刈りにより、雑草の生長点を刈り取る。 ・深耕、攪拌、抜根による防除を行う。 ・堆肥は十分発酵させ、雑草種子を死滅させる。 ②化学的防除方法 ・除草剤を散布する場合は、周辺環境に十分留意する。 ・強風時、雨天時には薬剤散布をしない。 ・基準量、希釈量を厳守し防除服やマスクを着用する。 ・畦や土手からの雑草侵入も多いため、周辺も防除する。																								
冬作	エン麦	施肥 基肥(kg) 追肥(kg) N 8 3 P 15 3 K 10 3 播種量 エン麦5~6kg/10a イタリアン2~3kg/10a	5~10t/10a													・エン麦は湿害に弱い草種であるため、降雨の少ない時期での栽培に適している。	(適用除草剤一覧 ※草地 平成28年4月現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>使用時期</th> <th>適用雑草</th> <th>使用方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハーモニー75DF</td> <td>雑草生育期(採草21日前まで)</td> <td>一年生広葉雑草</td> <td rowspan="5">雑草茎葉散布</td> </tr> <tr> <td>水和剤</td> <td>播種後(ギンギン草丈20cm以下)</td> <td>ギンギン類</td> </tr> <tr> <td>アージラン液剤</td> <td>ギンギン類の展葉時期(採草14日前まで)</td> <td>ギンギン類・キク科雑草</td> </tr> <tr> <td>ラウンドアップ</td> <td>耕起前まで(雑草生育期)</td> <td>一年生及び多年生雑草</td> </tr> <tr> <td>マックスロード</td> <td>耕起整地後~播種当日(雑草発生期)</td> <td>ギンギン</td> </tr> <tr> <td>バンベルーD液剤</td> <td>秋期最終刈取後30日以内</td> <td>ギンギン</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	農薬名	使用時期	適用雑草	使用方法	ハーモニー75DF	雑草生育期(採草21日前まで)	一年生広葉雑草	雑草茎葉散布	水和剤	播種後(ギンギン草丈20cm以下)	ギンギン類	アージラン液剤	ギンギン類の展葉時期(採草14日前まで)	ギンギン類・キク科雑草	ラウンドアップ	耕起前まで(雑草生育期)	一年生及び多年生雑草	マックスロード	耕起整地後~播種当日(雑草発生期)	ギンギン	バンベルーD液剤	秋期最終刈取後30日以内	ギンギン	
	農薬名	使用時期	適用雑草	使用方法																																					
ハーモニー75DF	雑草生育期(採草21日前まで)	一年生広葉雑草	雑草茎葉散布																																						
水和剤	播種後(ギンギン草丈20cm以下)	ギンギン類																																							
アージラン液剤	ギンギン類の展葉時期(採草14日前まで)	ギンギン類・キク科雑草																																							
ラウンドアップ	耕起前まで(雑草生育期)	一年生及び多年生雑草																																							
マックスロード	耕起整地後~播種当日(雑草発生期)	ギンギン																																							
バンベルーD液剤	秋期最終刈取後30日以内	ギンギン																																							
ヒエ	施肥 基肥(kg) 追肥(kg) N 8 5 P 15 5 K 10 5 播種量 3~4kg/10a	3~4t/10a													・出穂始めでの刈り取り、予乾サイレージ調整が望ましい。	<その他:ローズグラス更新時の省力化体系> ・ローズグラス更新前に秋冬作を作付する時、同時に播種をおこなうことで、省力化が期待できる。 (注意)播種時期の天候によってローズグラスが定着しない恐れがあるため、播種時期の天候(気温等)に十分に留意する。																									

※不明な点は、大島支庁農政普及課までご連絡ください。(本所)0997-57-7274 (瀬戸内駐在)0997-72-0184

肉用牛振興協議会大島支部(平成28年度)